



平成二十五年度

第一回理事会開催

五月二十四日(金)午前九時五十分より八幡事業所で特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」平成二十五年度第一回理事会が開催されました。

初めに山田理事長より開會宣言があり、資格審査委員に高原事務局長が選任され、理事総数九名、出席者数八名(うち書面表決者数三名)欠席者数一名で、定款の条項を満たしているため、この理事会は有効に成立する旨報告がありました。

次に定款に基づき議長に山田理事長が選任されました。また議事録署名名人に梶原常務理事と高原事務局長が選任され、その後審議に入りました。初めに高原事務局長より情勢報告、貞谷事務局長より平成二十四年度活動報告、梶原常務理事より平成二十四年度収支決算報告があり、全て満場一致で承認されました。

続いて山田理事長より平



成二十五年度活動方針(案)、梶原常務理事より平成二十五年度事業計画及び収支予算(案)の提案があり、承認されました。

次に、山田理事長より六月九日(日)に行われる第十回「さわやか」定期総会での役割分担について提案があり、承認されました。

また、七月に東京ハンディキャブ連絡会主催の北九州市移送サービスセミナー(仮称)と「さわやか」主催の第十三回北部九州三県合同通院送迎事業研修会が開催されます。

そして、九月で「さわやか」新聞発刊二〇〇号と九月八日「さわやか」法人設立

十周年となります。

それを記念しまして、「さわやか」新聞二〇〇号にて「さわやか」にかかわってくださった方々やボランティアさんにコメントを頂こうと思っております。現在数人の方にお願ひしております。

次に来年の四月九日でパソコンのソフトウエア「ウインドウズXP」のサポート

が終了する為、今後事務所のパソコンのソフトウエアをバージョンアップをするのか、またパソコンを買い替えるのかを、各方面に相談しながら、検討していきたいと提案があり、承認されました。

以上で、理事会の議案すべての審議が終了し、十一時に閉会しました。

お知らせ

北九州市移送サービス

セミナー(仮称)開催

七月二十七日(土)ウエルとばた二二二・二二二会議室で東京ハンディキャブ連絡会主催で「北九州市移送サービスセミナー(仮称)」が開催されます。

「さわやか」は二〇〇九年に東京ハンディキャブ連絡会の会員になり、毎年「移送サービス」のつどいに参加し、中央の情報を得て勉強させていただいております。

今回、北九州市でセミナーが開催されるので、お手伝

いさせていただきます事になりました。

東京ハンディキャブ

連絡会とは...

一九八六年に都内のハンディキャブ運行団体の情報交換や運行上の様々な問題を話し合う場として結成されました。

一九九四年より移送サービス問題にさらに積極的に取り組む為、個人会員を加えた新たな体制でスタートしました。

現在、東京ハンディキャブ連絡会は代表の荻野陽一氏と事務局長の伊藤正章氏を中心に事業を展開してい

第一部(10時~12時)

移送サービス(福祉有償運送)の法制化から現在までの流れなどを九州運輸局の担当者の方にお話しいただく予定です。

第二部(13時30分~17時)

また行政と運営協議会への対応として九州全体の動向についてお話を伺う予定になっています。

災害時における移送サービスの対応と対策

東日本大震災等を例にした移送サービスの課題、救援活動における移送サービスにできる事、災害弱者対策における移送サービスの位置づけなどについて対談をしていただきます。

この対談は、東京ハンディキャブの荻野代表と伊藤事務局長と大分県社会福祉協議会の村野淳子氏をお迎えし、それぞれの東日本大震災時の移送支援の経験をお話ししていただきます。(裏面につづく)

第13回 北部九州三県合同通院送迎事業研修会

日にち 7月28日(日)

時間 10時から16時30分

場所 小倉リーセントホテル

テーマ
コーディネーターの
スキルアップ研修

講師

東京ハンディキャブ連絡会
代表 荻野 陽一氏
事務局長 伊藤 正章氏

NPO法人腎臓病連絡協議会
すずらんの会
事務局長 伊藤 絵利子氏

主催 特定非営利活動法人
通院介護センター「さわやか」

糖尿病に対する正しい知識を

身につけよう

第十六回北九州市ウォークラリー

歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリーに参加

事務局員 貞谷 希望

五月十二日(日)午前九時三十分よりノボルディスプレイスクフアーマ株式会社と日本糖尿病協会共催の第十六回北九州市ウォークラリー「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー」が海峡ドラマシップ・海治い(北九州市門司区)で開催されました。

今年で二十二年目を

迎える

このウォークラリーは、ノボルディスプレイスクフアーマ株式会社が患者さんやご家族など参加者が糖尿病を学ぶ場や交流の場として、一九九二年に第一回大会が東京で開催されて以来、今年で二十二年目を迎えました。今では全国規模に発展し、

毎年約五十ヶ所で開催され、参加者数は約六〇〇〇人を数えます。

糖尿病患者さん向けに二十年以上も継続して行われているこのようなウォーキングイベントは他にはありません。
ウォーキングは

手軽で効果的

また、ウォーキングは糖

(前面よりつづき)

また、NPO法人腎臓病連絡協議会「すずらんの会」事務局長の伊藤絵利子氏にも

参加いただき貴重な経験談をお話しいただきます。

そこから災害時要援護者に対する支援や、移送サービスのある方を探っていくきたいと思えます。

その後、北九州市における行政の取組みとして、北九州市の防災担当の方にお話をしていたり、

になつております。

中身の濃い内容となっております。

関係者の方だけでなく、この話に興味がある方など何方でも参加できます。

参加費はお一人、午前と午後、それぞれ三千円です。ご質問・内容の詳しいことを知りたいなどございましたら、「さわやか」までご連絡ください。



自分の健康は自分で守ろう！

健康づくりはウォーキングから

第七回 北九州無法松ツーデーマーチに参加しませんか？

昨年「さわやかあるこうかい」を発足し、北九州無法松ツーデーマーチ実行委員会主催の「第六回北九州無法松ツーデーマーチ」に参加しました。

今年も開催され、九月二十九日(日)に「さわやかあるこうかい」として参加します。

『自分の健康は自分で守ろう！健康づくりはウォーキングから』を合言葉に、昨年は五キロコースを歩きました。

みもすそ川公園(山口県下関市)を巡る長距離コースに挑戦しました。

初めに参加者全員の血糖値測定が行われ、準備体操と本日の流れの説明がありました。

クイズを解きながら

ゴールを目指して

その後、各四名から六名のグループに別れた患者さんやその家族の方々に一名から二名の医療関係者がつくチーム構成で、地図をもとに六ヶ所のチェックポイントで、糖尿病に関するクイズやご当地クイズを解き

ましたので今年も、唐津街道探索十キロコースに挑戦しようとして計画しています。唐津街道探索コースは午前十時に北九州勝山公園(小倉北区)をスタートし、常盤橋、境川、一枝小学校、市立総合体育館、茶屋町陸橋、原町緑道を巡り、北九州勝山公園(小倉北区)がゴールです。

興味のある方は是非ご参加下さい。詳細につきましては後日お知らせします。

ながらゴールを目指して海峡ドラマシップを十時に出発しました。

コースの途中には、ご当地ゆるキャラたちが、門司港トロッコ観光列車「潮風号」と競争したり、海岸沿いで魚釣りをしている人に約四十センチの魚を見せてもらいながら、約三時間かけて

楽しく歩くことができました。ゴール後には参加者同士

美味しいお弁当を頂きながら交流をしました。

最後に整理体操や成績発表があり、参加者達は来年も会うことを誓い、午後二時三十分解散しました。